

2015年度 第1回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

7 講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2015年6月20日(土) 10:00~11:10

於：山形大学文化ホール（山形県山形市小白川町一丁目4番2号）

応募7講演のポスター掲示、ならびに発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められ終了した。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げます。

2-2 選考委員会

2015年6月20日(土) 15:10~15:45

於：山形大学地域教育文化学部1号館講義室113

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員4名（下記参照）で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、表彰式への出席を辞退した1件を除く、計6件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、票を投じて決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていたので、候補として挙げられた1講演には、投票にあたって配慮することとした。

結果、次節に示す講演に第1回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長： 櫻井 一弥（建築デザイン教育部会長、東北学院大学）

選考委員： 小地沢将之（建築デザイン教育部会幹事、仙台高等専門学校）

恒松 良純（東北学院大学）

大沼 正寛（東北工業大学）

3. 選考結果

第1回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「公共建築物建設プロセスにおける住民参加の拡充
-遊佐町まちづくりセンターにおける取り組み-

星 尚之、岩佐 優、岸田 龍司、星 歩美、小地沢将之（敬称略）

（仙台高等専門学校）

4. 講評

「公共建築物建設プロセスにおける住民参加の拡充 -遊佐町まちづくりセンターにおける取り組み-」

本講演は、山形県遊佐町における複数のまちづくりセンター建設プロセスにおいて、住民参加の拡充を果たした一連の取り組みについて報告したものである。一般的な公共建築の建築検討プロセスは、設計事業者選定から基本設計に至るすべての過程を行政が中心に実施しているが、遊佐町まちづくりセンターの建築検討プロセスでは、まず基本構想を策定するワークショップ（以下WS）を開催し、その構想に基づいて公募型プロポーザルを実施、設計提案を募っている。そのうえで、選定された設計事業者とともに、設計案に対して施設活用方法の検討や案の修正を行うなど、設計の一連のプロセスに住民が参加している。前半2回のWSで、既存のまちづくりセンターの評価と新しいセンターの間取りの検討、ならびにセンターの利用団体ごとの要望などをまとめている。厚紙を切ってレイアウトする空間ブロックWSなど、住民に分かりやすいやり方が模索されている。それらの成果を「地区カルテ」としてまとめ、公募型プロポーザルの資料として添付し、設計事業者を募った。後半2回のWSでは、選定された設計事業者を交えて、センターの間取りや使い方について議論されたほか、行政と住民の運営分担を議論するなど、建設後のマネジメントまでを視野に入れた興味深い検討が為されている。これらを通して、住民の意見を実質的に取り入れたセンターの設計案が完成するとともに、住民の当事者意識を醸成することができた貴重なプロジェクトである。また講演については、ポイントを適切にまとめた分かりやすいプレゼンテーションが高く評価され、今回の賞に選出された。

以上